

## 平成30年度 第1回草津市地域包括支援センター運営協議会 会議概要

- 日時：平成30年7月23日（月）午後2時00分から午後4時15分
- 開催場所：草津市役所 2階 特大会議室
- 出席委員：高松委員（会長）、堀委員、黄瀬委員、松浦委員、村田委員、谷口委員、北村委員、長島委員、川口委員、木下委員、中村委員、上田委員、井上委員、安井委員（14名）
- 事務局：健康福祉部総括：増田副部長  
健康福祉部長寿・介護保険担当：居川副部長  
地域保健課：太田課長、江南課長補佐、松尾副参事、高谷専門員、奥村  
長寿いきがい課：（課長代理）橋本高齢者福祉係長 中井主任  
介護保険課：久泉課長  
各地域包括支援センター：井上主任介護支援専門員（高穂）、海部主任介護支援専門員（草津）、  
小山主任介護支援専門員（老上）、嶋村相談員（玉川）、  
濱崎主任介護支援専門員（松原）、的場相談員（新堂）
- 傍聴者：なし

### 1. 開会挨拶（健康福祉部総括 増田副部長）

市では、誰もが健康で長生きできることを目指した市民の健康づくりや、介護や支援が必要になってもできるだけ住み慣れた地域で長く住み続けることができることを目指した、地域包括ケアシステムの構築を推進している。これをさらに進めていくに当たり、地域ごとの特性に応じた取り組みを、地域と連携して進めていく必要がある。このことから昨年度より保健師の地区担当制を導入し、それぞれの地域の特性に応じた健康づくりや、生活支援・介護予防の充実を進めている。平成25年度より設置した地域包括支援センターは日常生活圏域である中学校区毎に設置をし、今年度で6年目を迎え、高齢者の方への総合相談やネットワークづくりを進めることを目的とし、要支援認定者及び介護予防・日常生活支援総合事業における対象者のケアプランの作成支援や、医療、介護、福祉などの関係者や地域の活動団体とのネットワークづくりを行っている。昨今では、高齢者の方の個人への支援にとどまらず、地域の関係者の方々とも高齢者の現状や課題を共有し、その解決方法を話し合う会議を草津市社会福祉協議会とともに中心となり開催している。

本市の高齢者の保健福祉施策に御支援、御協力を感謝するとともに、今回委員委嘱の改選に伴い、委員の方々には3年間の任期をお願いする。

本日の協議会では、平成29年度の各地域包括支援センターの事業実績に基づく評価や、平成30年度の事業計画等について御審議いただく予定になっている。また、各地域包括支援センターからは、地域におけるネットワークの構築に向けた取り組み等についても報告をする。よろしくお願ひしたい。

### 1. 報告（地域保健課 太田課長）

本日の協議会は草津市附属機関運営規則の規定により、本協議会の委員の任期は3年とし、改選委員15名中14名の方の出席により過半数に達しており、成立することを報告。

### 2. 委員紹介

《各委員の自己紹介》（資料1）

### 3. 会長、副会長の選出

選出方法について委員から「事務局案で」の声あり。

事務局が高松委員を会長に、堀委員を副会長に推薦し、一同了承。

#### 4. 事務局・各地域包括支援センター職員紹介（資料2）

《事務局・各地域包括支援センター職員の自己紹介》

#### 5. 議題

##### (1) 委託居宅介護支援事業所の承認について

《事務局より資料3について説明》

→承認される。

##### (2) 平成29年度 草津市地域包括支援センター事業実績報告および評価について

###### ①市全体の実績報告について

・「日常生活圏域の概要」、「相談件数・内容」、「権利擁護事業の相談状況」、「会議・研修・地域ネットワーク活動の実績」、「指定介護予防支援事業の状況」 （資料4～8）

###### ②収支決算について（資料9）

###### ③各地域包括支援センターの実績報告および評価について

「評価整理表」「実績報告書」 （資料10・11）

###### ④各地域包括支援センターの活動報告

##### (3) 平成30年度 草津市地域包括支援センター事業計画について

###### ①事業計画について（資料12）

###### ②収支予算について（資料13）

《事務局より説明》

会長) 16ページからはセンター別に、項目ごとに自己評価、次に市の評価になっている。45ページからは、包括ごとに具体的な目標・それぞれの総括・課題があり、細かく評価している。事務局からの説明について質問や意見はあるか。

委員) 7ページの平成29年度高齢者虐待の対応状況のグラフについて、高穂と草津の相談件数が多いと思うが理由は何か。資料4で高穂と草津の高齢化率は高くないのに、相談件数が多いのはどうしてか。

事務局) 資料4の高齢化率は松原・新堂が高いが、全体の65歳以上の高齢人口では、高穂が5,775人・草津6,172人で高齢化率というより高齢者人口の多いことが原因の一つではないか。

委員) 資源マップについて。これは誰が見るためのものか。作成に時間がかかっているようだが、全ての包括は出来ていない。結構予算をとっているが。

事務局) 資源マップは、14学区、小学校区毎で進めているが、現在、9学区作成している。高齢者だけでなく、介護をしている家族も対象にして作成している。全ての学区の作成が望ましいが、各学区の意見を集約し取り入れながら進めている。金銭的な補助と作成の支援をする部分がある。

委員) 作ろうと思う学区のみが作るということか。

事務局) 各高齢者を中心とした医療福祉を考える会議を開催している学区は、14学区のうち11学区であるが、その会議の中で意見をまとめて作る。

委員) 置いておくだけの物にお金をかけると税金の無駄遣いだと思う。有意義にいろいろ見るような形のものを作らないといけないと思う。

事務局) 地域資源マップは高齢者や介護する家族が使って便利な情報誌である。今年度作成した志津小学校区の資源マップの活用方法を高穂包括から紹介する。

高穂包括) 地域の方が使うことを目標に作成した。協議を進めていく中で、志津学区の共通ルールとして使えるよう、地域サロンの情報や認知症のページ等もとりいれている。困った時の相談窓口を裏表紙に大きく載せた。手元に置く事に工夫し、穴をあけ吊るせるようにし、作るだけが目的ではなく活用方法を地域の方と深めた。

委員) 地域資源の活用につながると思うが、介護予防のパターンの中に地域の資源のサービスを活用していく、インフォーマルなサービスがプランの中に入ってくるのが大切だが、そのあたりをどう見ているのか。それと、資料8の介護予防支援対象者の悪化理由で、⑤転倒・骨折によるADL低下と、⑥腰痛等の痛みによる悪化が全体の中で多いのはなぜか。何か予防できるようなことを分析しているのか、教えてほしい。特に腰痛などの痛みによる悪化が高穂地域包括は他に比べるとかなり多いと思うが。

事務局) 資料8の介護予防ケアマネジメントについては、介護保険制度の改正に伴い、平成29年度から介護予防日常生活支援総合事業を開始しているが、事業は高齢者の参加や活動支援を介護予防に取り入れる事で、地域や社会の中で役割を持ちながら生き生きとした生活を継続する事を目的としている。この取り組みの振り返りを長寿いきがい課と地域包括で行い、サービス終了後のつなぎ先をどこに持っているのか、地域のインフォーマルなサービスや居場所に繋がられたかの視点を入れ、振り返りをしている。

会長) 新しいサービスで難しい、わかりにくいという点もあるが、「高齢者をささえるしくみ」の28ページ、29ページになるが、「介護予防・生活支援サービス事業」という、新しい枠組みのいろんな種類のサービスを利用して行く取り組みなので、総括はもう少し時間がかかるという説明である。

事務局) 圏域ごとに悪化理由をまとめているが、転倒・腰痛の各原因までは分析できていない。

高穂包括) 5番と6番のチェックで当センターでもこの数字について、介護予防担当職員とヒアリングをしている。この点ではセンターで見方が違う可能性もあるが、高穂中学校は志津・志津南・矢倉と縦に長いエリアで、まち中の国道沿いに近いところと、志津学区は以前から農作業をされている方の多い地区になる。ある程度、痛みがありながらも草抜きや、農作業等をされている。腰痛に関していえば、高穂学区だけが高いのは少し違うのではないかと思うので、センター内のチェックをもう少し慎重に予防担当と共有していきたい。

会長) 基準が違えば、どこに分類するかも変わってくるし、地域的なこともある。

委員) その議論の中で、「高齢者をささえるしくみ」の28ページ、29ページの介護予防生活支援サービスの中の生活支援型訪問サービスにインフォーマルなサービス、ボランティアによるものを含めるのか。ボランティアは無償サービスが基本になるので、報酬は基本的にはあり得ない。インフォーマルな組織がどこを指すのかわからないが、ボランティアによるサービス、例えば、社会福祉協議会、あるいはその関連ボランティアによるサービスでの生活援助や買い物サービスはどうなのか。

会長) 今、草津市で、いわゆるインフォーマルなサービスの実施事業者その他、主体はあるのか。

事務局) 例えば、こちらの総合事業のサービスでは、短期的に活動型ディサービス等へ通所しその中で生活の訓練を受け少しずつ改善がみられ、サービス終了後、例えば、町内会で実施しているいきいき百歳体操や地域サロン、サークル等の団体に参加し改善を持続していくというイメージをもっている。

会長) 草津市は今そういったところが、いわゆるインフォーマルなサービスを実施しているところになる。

委員) 医療福祉を考える会議は大分進んできたように思う。私も3回参加したが、総合的な会議になっていて、認知症のみならず、福祉に関する情報を頂いている。会議の種類を細かく分けると回数が多くなるが、医療福祉を考える会議では、シリーズで分けた方が受講者としては総合的に情報が得られるのではないか。

会長) 区分の仕方がこれでよいのかはあるが、中身が重複しているような会議等ある。医療福祉を考えることは全体的な様々な問題を取り上げているということなので、少し会議の内容を分類する等し、検討し直しても良いと思うが、今後の課題とする。

包括別の事業報告は、細かくでているので事務局へお気づきの点は連絡をされたい。

議題（２）の④各地域包括支援センターの活動報告について。現在、地域包括は様々な活動や事業をしている。先程の、医療福祉を考える会議のように、地域の中で地域の住民と地域の問題を考えていく事も積極的に進め、地域の中の助け合いやネットワークづくりをどのように今まで重ねてきたか活動状況と報告を聞く。

#### ④各地域包括支援センター活動報告

《パワーポイントを利用して各包括から説明》

高穂包括) 【地域とのネットワーク、関係作りに関して取り組んだ内容】 (パワーポイント資料の通り)

草津包括) 【H29年度地域ケア個別会議からみえてきた小さな地域ネットワーク】

(パワーポイント資料の通り)

老上包括) 【「老上・老上西学区の医療福祉を考える会議」から生まれる地域福祉活動】

(パワーポイント資料の通り)

玉川包括) 【地域とのネットワークづくりについて】 (パワーポイント資料の通り)

松原包括) 【圏域ケアマネジャー勉強会&圏域地域ケア個別会議】 (パワーポイント資料の通り)

新堂包括) 【みんなでつくる「笠縫東」のまちづくり～笠縫東学区の医療福祉を考える会議～】

(パワーポイント資料の通り)

会長) 具体的な内容として、医療福祉を考える会議などの活動について、あるいは、地域ケア個別会議では、どんな話し合いが行われているのか、地域ネットワークが構築され支援がすすんでいく中で、各地域でどのような活動が行われているのかを紹介してもらった。これについてまた意見をもらいたいが、時間の都合上、何かあれば事務局にお願いしたい。

#### (3) 平成30年度 草津市地域包括支援センター事業計画について

①事業計画について (資料12)

②収支予算について (資料13)

《資料12～13について各地域包括支援センターから今年度の目標等を簡潔に説明》

会長) 今年度の計画、それに基づく予算については、意見等があれば事務局へお願いしたい。

委員) 歯科医師会から。平成22年度から厚労省で全国的に在宅歯科医療連携室を作っており、滋賀県湖南圏域でも、守山に在宅歯科医療連携室ができた。「80歳で20本残そう」という事で、20本残れば入れ歯なしでも自分の歯でかめますよという運動をしてきたが、20年位前は4本位残っていたのが現在は80歳で半数以上の方、51%の人が20本残っている。しかし要介護の状態になると急激に悪化してきて、歯が沢山残っていることでいろんな病気が生じる。誤嚥も起こる。治療が苦しい。その対策は、予防が第一であり、口腔ケアが最善で最良の手段になるため、在宅歯科医療連携室ではケアプランの中に口腔ケアをいれてほしいことと、ディサービスで口腔ケアを実施することをコンセプトとし、連携室で、歯科衛生士9名が常駐している。要請に応じて講演や指導を、介護の現場で実際に説明する。3年間の県のモデル事業としている。診療に繋がるものは有料だが、ケアプラン、口腔ケアについての部分は無料なので利用を願いたい。

会長) 新しい事業というので、連携先として包括あるいは事業所の方にも活用してもらい連携していくところ

だと思ふ。

事務局) 資料14について、103ページ。第2回運営協議会は来年2月ごろを予定している。内容は、地域包括支援センターの評価方法、平成31年度地域包括支援センター運営方針についての御意見を伺う予定である。なお、来年2月までに御協議をいただく事案が生じた場合は、もう1回会議を開催させていただくこともあるので御了承いただきたい。

委員) 1つお尋ねしたい。徘徊のシステムについて、現在、各学区で何人ぐらいおられるのか。

会長) 時間がないので、この後、担当課からお伝えする。

委員) 結構です。

会長) 次回は、年明けの2月の予定。国で包括の事業内容の見直しをするということがある。また、昨年度の3回目の会議の時に包括の業務が多過ぎるのではということで検討をしている。そういうところで、事業内容の見直し等が今後必要になってくるかもしれないので、皆さま方には御協力をいただくかもしれない。今日は十分に御意見をいただけなかったので、改めて事務局に御意見をいただきたい。

午後4時15分 閉会